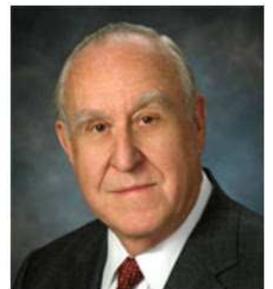


鈴鹿ベイロータリークラブ

例会日 木曜日 18:30~19:30
例会場 鈴鹿サーキットホテル
事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770



人類に
奉仕する
ロータリー



第1235回 例会報告 (2016年11月10日)
ロータリー財団関連
奉仕部門担当

■司会 / 大泉博典 SAA ■ロータリーソング / 君が代、奉仕の理想

■会長挨拶 / 平野泰治 会長

第2630地区 地区大会さらには、鈴鹿ベイロータリー杯少年柔道大会へのご協力ありがとうございました。地区大会では大変良い話を聞けましたので、ご紹介します。まず、第2680地区の久野パストガバナーの基調講演です。内容は「職業奉仕のロータリアンに戻れ」との厳しいご指摘でした。ロータリー活動は本来、倫理活動団体であり、その基本は人づくりであったはず、現状は単なる NPO や社交クラブに成り下がっている、原点へ戻るべきとのお話でした。2つ目がガバナー表彰例会皆勤受賞者の郡上八幡 RC 大畑さんのスピーチです。大畑さんは、97歳、元陸軍軍人。ガダルガナルで、悲惨な終戦を迎え、多くの戦友を亡くしました。60歳でロータリー活動に出会い、これこそが戦友の遺志をつなぐ活動だと思い入会し、以来37年間例会無欠席です。これこそが、ロータリアンの原点だと思います。

先日は鈴鹿市でも、野菜高騰による学校給食の2日間中止問題で、世間を騒がせました。この件に関しても、学校給食とは何か、市長のリーダーシップ、市議会の役割、組織のあり方とはなど、原点に戻って考える時代の転換期に来たのではないのでしょうか。皆さんそれぞれで、自分事として考えましょう。

■幹事報告 / 川岸憲博 幹事

- (1) 11月ロータリーレートは102円です。
- (2) 亀山RC創立25周年記念例会開催
11月13日(日)午後4時30分、於；安全文化村
- (3) 鈴鹿西RC第1500回記念例会開催
11月22日(火)17:00、於；鈴鹿平安閣
- (7) R財団表彰 / マルチプルポールハリスフェロー表彰 大泉博典会員
- (4) 第38回バギオ訪問交流の旅 2017・2・10 ~2・13 189,000円
- (5) ポリオワクチン投与活動6日間の旅 2017・1・26~1・30 178,000円
- (6) 例会終了後、理事役員会を開催致します。



■出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
11月10日	12名	10名	2名	83.33%

2週間前の補正後出席率 12名中 12名 100%

■ニコボックス

平野泰治……地区大会、少年柔道大会ご苦労様でした。ありがとうございます。

遠藤龍夫……少年柔道大会は仕事の都合で出席出来ませんでした。久しぶりにサーキットの例会に出席しました。

宮崎弘夫……F I、柔道大会と皆様ご苦労様でした。本日久しぶりのホーム例会で卓話させていただきます。よろしくお願いします。

川岸憲博……久しぶりのサーキットでの例会です。やっぱり落ち着きます。

■例会 / 財団月間にちなみ / クラブ財団担当 宮崎弘夫

平野会長には先月29日、大変ご多忙の中にもかかわらず、岐阜で行われた財団セミナーにご参加いただきました。地区大会の翌週でしたが、本当にご苦労様でした。

今年、渡辺前委員長から辻委員長に変わったわけではありますが、地区委員会が非常に活発に、そして彼らが、何とか地区内各クラブにもより活発な財団活動を行ってもらおうと言う意気込みが、お話の中で十分に伝わってくるのが良くわかったセミナーでございました。

今回のセミナーはMOUと言う補助金を受けた場合のお金の管理について、これが表向きの目的でしたが、辻委員長の今回の本当の目的は「もっと財団のお金を使ってくれ・ロータリーの理念に沿った奉仕活動をやってほしい」と言う気が、大きく感じたセミナーでした。

この第2630地区、財団が管理するDDFすなわち地区財団活動資金の使われ方が他の地区と比べれば、非常に少ないことが発表されています。その原因は？と問われた場合、クラブのやる気？ロータリアンの怠慢？と私たちの反省かと思ってしまうのですが、辻委員長は、地区財団委員会の指導・広報などの不足を以前から大いに悩んでいたそうです。

そして今回のセミナーによって参加者全員に配られた、たった3枚の紙、このたった3枚の紙を出し惜しみしていたが故に、この第2630地区は地区活動資金を使った奉仕活動が他の地区より極端に少なかったわけであります。その3枚に紙と言うのが、ここにあります「地区補助金 申請用紙」であります。この3枚の紙がこれまでのセミナー等で添付されなかったがために、「地区補助金」とは非常に雲の上の存在であり、使いにくかったような物でした。

今回この申請用紙の公表で、DDFと地区補助金活動はいっきに身近になったような気がします。すなわち、地域や世界への奉仕活動がこの第2630地区から大きく広がるときがやってきた、と言っても良いと思います。

今回のセミナーでは、この申請用紙の書き方やルールなどをかなり詳細に説明されておりました。例えば、鈴鹿ベイロータリークラブの場合、\$1,000を拠出すれば・・・

1,000ドル × 3年前(2014~2015)年度の年次基金達成率 $1.2 \times 1.5 = 1,800$ ドルの補助金が受けられるわけです。

一度、当鈴鹿ベイロータリークラブからも何か身近な地域社会に役立てるようなことを考え、この地区補助金活動をやってみたいと思いますのでそれらにふさわしい事業を皆さんからのご提案をお待ちいたします。